熊本洋学校で教師ジェーンズの薫陶を受け、
花岡山でキリスト教を奉じ
この教えを日本全国に宣布しようと結盟し、
その後「熊本バンド」と呼ばれた青年たち。

日本におけるキリスト教プロテスタントの
源流の一つとなった「熊本バンド」の
結盟１４８周年を記念して、
早天祈祷会を開催します。

熊本バンド148周年記念

講　演　会

1月29日(月)18:30～20:30
場所／日本基督教団熊本草葉町教会
熊本市中央区草葉町１－１５ LIVE
テーマ
「愛と自由に生きた人々」

村上 みか 氏

バーゼル大学神学部博士課程修了、
神学博士（Dr. theol.）。
名古屋学院大学、東北学院大学を経て、
現在、同志社大学神学部教授。
同キリスト教文化センター所長。
日本ルター学会理事長。
専門は歴史神学・宗教改革史。
※YouTube にて、LIVE 配信をいたします。

早天祈祷会

1月30日(火)6:30～7:30
場所／花岡山山頂（※雨天決行）
熊本バンド奉教之碑前 LIVE
奨励
「命を受ける」
村上 みか 氏

※YouTubeにて、LIVE配信をいたします。
（講演会と早天祈祷会のLIVE配信です）
※LIVE配信・献金方法の詳細は、
熊本ＹＭＣＡホームページよりご確認
ください。

熊本YMCA 検索

祈祷会を憶えて献金をお願いします。
振込先（上記 HP より、クレジットカードでも可）
肥後銀行（182）　新町支店（103）
口座番号（普）　1185753
熊本 YMCA 熊本バンド　代表理事　光永 尚生
※お名前の前に「ケンキン」とお書きください。

●お問合せ　熊本バンド148周年記念行事実行委員会事務局(熊本ＹＭＣＡ)　TEL096-353-6397

〈実行委員会〉森嶋　道（実行委員長／熊本草葉町教会）

中村　英之（熊本県教役者会）　崔　大凡（九州ルーテル学院大学･高校･中学）　齊藤　基（九州学院高校）　日笠山吉之（九州学院高校チャプレン）
内村　公春（同志社校友会熊本県支部）　森永　久（同志社校友会熊本県支部）　朝廣　大己（熊本大学ＹＭＣＡ花陵会）　鎌田　冬彌（熊本大学ＹＭＣＡ花陵会）
光永　尚生（熊本ＹＭＣＡ）　熊本　哲朗（熊本ＹＭＣＡ）　佐藤万由美（熊本ＹＭＣＡ）　松本　光広（熊本ＹＭＣＡ）

前の週の1/27（土）に、熊本バンドゆかりの地である花岡山の清掃活動が行われます。併せてご参加ください。

＊熊本バンドとは…

１８７６年１月、熊本洋学校の学生有志は、キリスト教によって人心の改革をはかろうと熊本の花岡山に登り、キリスト教信仰の誓約書を交わすが、このことが知れわたり、誓約に参加した青年たちは家族からも迫害を受け、洋学校は廃校に。青年たちはジェーンズの依頼で開校直後の同志社にあずけられることになった。１８７９年に同志社を卒業した第１期生１５人は、全員が熊本バンドであった。新島を手こずらせた奔放不羈な彼ら熊本バンドではあったが、しかし一方で、徳富蘇峰、金森通倫らを中心に、新島の同志社大学設立運動を助け、同志社の自由な校風をつくっていく。歴代総長（当時は社長)を見ても、小崎弘道(第２代)、横井時雄(第３代)、下村孝太郎(第６代)、原田助(第７代)、海老名弾正(第８代)と、昭和に至るまでこの熊本バンドの出身、またはゆかりの英傑たちが名を連ねる。

（同志社大学ホームページより）

奉教趣意書（口語訳）

我々が、キリスト教を学んだところ、大変教えられるところがあった。以後、これを学べば学ぶほど喜びが得られる。そこで、このキリスト教を日本の国中に伝道し、文明を知り文化を得てほしいと考えるに到った。

しかしながら、キリスト教の深い真理を知らずして、古い伝統と習慣にしばられている人々が少なくない。我ら新しい真理を知った者として、この真理を知らない人々の現状を見るに、いたたまれないもどかしさを感じる。この際、我ら、新しい大きな使命をになう青年は、一大決心をし生命がけでキリスト教が公明正大な宗教であることを、明確にしてゆかねばならない。この決意の実行に、我々はもっとも力を尽くすつもりである。

そこで志を同じくするものが、花岡山に登り、一致協力してキリスト教の信仰を守ってゆくために、次の約束をする次第である。

１．キリスト教を信じる者は、お互いに兄弟としての交わりをもち、生活全般にわたって、互いに戒めあい忠告しあいながら、良い行いを実行しなければならない。

２．いったん、キリスト教の信仰を持ちながら、信仰にふさわしい生活ができない者は、神をあざむくことになる。また、自分自身の心をもあざむくことになる。こうした者は、必ずや神の罰を受けることを知らなければならない。

３．今日、我が国の多くは、キリスト教を拒否している。それ故に我らの内、たとえ一人でもキリスト教をすてる者は、世間の物笑いになるだけでなく、我らのせっかくの決意をもふみにじり、実行不可能にしてしまう。ともども、努力しようではないか。

１８７６年1月３０日　日曜日　記す